第三種郵便物認可　新聞定價一カ月60円　一部賣3円（月曜休刊）　磐城日日　昭和27年（1952年）4月17日（木曜日）　【第508号】

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表397番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

見習工募集!!
学歴中卒18才以上
身元確実で永續出來る意志堅固な者
⊙委細面談
小名浜町渚廻五
長瀬印刷株式会社

三億増資達成の表彰
第四回縣下農協大會
二十一日郡山市公會堂

第四回縣下農業協同組合大会は三億増資達成記念表彰式を兼ね来る二十一日午前十時より郡山市公会堂に於いて縣下四百組合の役職員を集めて開催される

当日午前中は三億増資達成の三百二十一組に對しての表彰を行い知事賞を贈り、午後は次の農協運営についての諸問題を協議する

農協の財務確立
農協共販体制の確立
農協の課税撤廢
農業技術員の設置
農協法改正要望
農事用電力料金値上反對
産業倉庫の整備強化
葉タバコ收納代金の予託指定

山村醫療活動の育成助長

なお今回石城郡下に於いて表彰される農協組合は二六である

平市の青年學級
新制中卒者を對象

平市公民館主催の青年學級（新制中学卒業者を對象とする）は收容能力五十名に對して十四日現在百五十名の申込みがあるが、更に増加しつつあるため平市教育課では收容對策として湯本、内郷、四倉に對して青年學級開設をすすめている

この青年成人學級は新制中学を卒業したもので上級學校に行けなかったものに対し不良化防止の対策として行い、父兄からも開設を要望されているものであり平第一、第三中學校ではそれ〳〵卒業生を自校で青年人教育をすることになっており、公民館では第二中學校の教室を使用して行うが申込数だけの豫備教室がないため困っている

松原校長の垂範
講堂建設に三千圓

前小名浜高等學校長松原萬氏は今回の大異動で棚倉高等学校長に轉任されたが當地を去るに際して小名浜高校講堂建設の一助にと三千圓を寄附された、松原校長は二十二年の秋小名浜高校長として赴任されてより足かけ六年になり、その間四校舎新築を始めグランドの整備擴張など名実共に今月の小名浜高等學校を築きあげた功勞者であり今回の轉任に對しても講堂の完成をみずして去るのは何んとも心残りがしてならないといいながら赴任されたが、講堂の早期出現に對しては他校にあっても忘れらずその爲身をもって範を示されたものと思われ各方面から感謝されている

平で石城町村長會開催

石城地方町村長会は十四日午前十時より平市いわき民報ホールに於いて開催され、来る二十二日平市公會堂に於いて縣下町村長会を開くこと、また平市鎌田に新築された石城家畜保健所の落成式を明十八日午前十一時より挙行すること、鮫川水利問題について常磐炭礦に許可を縣知事に陳情する等原案通り決定した、

小名濱、泉消防團
連合春季檢閲を執行

小名濱町消防團及び消防署並に泉村消防團の連合春季檢閲は來る十九日午前九時より小名浜第一中學校庭で行われる

檢閲官は縣消防協会平支部長佐藤二平氏で小名浜（團長志賀要平氏三百名）泉村（團長上遠野浩氏）百五十名の精鋭が一場に会し日頃の訓練ぶりを發揮して通常点檢、教練、分列式等が行われるが、當日は一般に公開されるため町民多数の參觀を希望している

郡農業委の役員會開く

石城郡農業委員會では本十七日午前十時より平市役員会を開き、普及員の訓練、食糧増産、優良品種の普及等二十七年の事業計画について打合せを行う

湯本町の土木委員會

湯本町議會土木委員会は十七日午後一時から役場議會議室に於いて開催、公營住宅建設其の他について協議する

郡小校長會
小名濱で

石城郡小学校長会は十九日午前十一時より小名濱第一小学校に於いて開かれるが主なる協議事項は次の通り

○二十六年度の決算に關する件
○二十七年度の予算に關する件
○役員改選の件
其他

永井氏會計主任に任命

國警縣本部ではこの程会計主任採用試驗を行ったが十五日附をもって永井藤治氏が小名浜地區警察署会計主任に縣隊長より任命された

平放送局で第二放送
五月一日より開始

東京電波委員會に對して申請中であった平放送局の第二放送は去る十一日の第二放送が開始されることになったなお機械調整並に電波管理局のテストは今月末頃行われる豫定で呼出しはJOHZとなっている

鈴木會長ら役員を決定
小名浜一中

小名浜町第一中学校PTAでは昨十六日午前九時より總會を開き二十六年度の決算報告、二十七年度予算等について協議をなし續いて役員の改選を行った結果次の通り決定した

会長＝鈴木義勝氏、副会長＝藤社大一、松本保夫宍戸亮海の三氏

新聞の話 ②
＝言論、出版の自由と世論＝

新憲法の第二十一條には集会、結社の自由と併せて言論、出版の自由ということが明記されている

吾々國民は誰に遠慮もなく充分自分の正しいと思うことを堂々と述べたり本や新聞に書いてその考えを發表してもよいということである

こうして次第にまとめられた國民大多数の意見が世論と言われるもので、吾々の生活に直接に關係のある町や村の問題、或は國全体の政治まで動かすような大きな力となる

この世論をつくるために新聞は實に大きな役割をもつものである

世界は一つに結ばれている

＝新聞の歴史＝

新聞は元來、社会のあることを一般に知らせるために出來たもので、政府で発行した官報のようなものが西洋でも東洋でも新聞のおこりである

西洋ではローマの皇帝ユリウス・ケーザル（紀元前一〇〇―全四四）のころに出た「アクタ・セネトウス」と「アクタ・デイウルナ」東洋では唐（中國古代の國名）の皇帝玄宗（六八五―七六二）のころ「邸報」が最も古いものとされている、勿論印刷術を發明したグーテンベルグは生れていない時代であり、今日吾々が讀んでいるような印刷されたものではない

日本での新聞は文久二年（一八六二年）当時バタビヤで發行されていたオランダの新聞の記事をほん譯して「バタビア新聞」を発行したのが始りであり明治三年（一八七〇年）には鉛の活字により西洋紙に刷った「横浜毎日新聞」という日刊紙が發行され、翌年には「新聞雜誌」「京都新聞」明治五年には「東京日日新聞」と續々新らしい新聞があらわれ、日本の國力が進展するにつれて新聞も目ざましい發展を遂げたのである

＝世界の新聞＝

國民の心の中にしっかりと民主々義が根をおろすためには言論や出版の自由がどのように使われているかが大きく關係している、吾々はこの與えられた自由を充分に生かして世論を作りあげ國の歩みを正しい方向に進めていかねばならない

どの國でどの位の新聞が発行されているか、また人口との比率はどうか、発行される新聞が多ければ多い程世論もまた活潑となるもので、これは言論や出版の自由という立場からしてもなかなか大切なことである

アメリカの人口は一億五千万人に對して日刊紙が二〇二〇、週間その他が一〇七八四合計一二八〇四（一九四六年調べ）日本は人口八千万、日刊は一七八、週間九二合計二六〇（一九四八年調べ）でありアメリカは一万一千人に對して新聞社が一つ、日本は三十一萬人に一つということになる、こうした概算の上よりみてもアメリカの世論の活潑なることがうかがわれる

日本の新聞によく出てくる世界の新聞のうちで主なるものをひろってみると

アメリカ＝ニューヨーク・タイムス、ヘラルド・トリビューン

ソ連＝イズヴェスチヤ、プラウダ

中國＝大公報、文匯報（ぶんわいほう）

フランス＝ユマニチ、フイガロ、フランス・ソワール、ボビュレール

オーフ、シカゴ・デイリー・ニューズ、シカゴ・トリビューン

イギリス＝ロンドン・タイムズ、デイリー・エクスプレス、デイリー・ヘラルド、デイリー・メール、デイリー・ワーカー、オブザーヴアー

→※←　→※←

天氣予報 17

（本日）南風が一時稍強く初めは晴時々雨の天氣ですが後には曇勝ちの天氣となりましょう

（海上）南風が強まりますから小型船舶は御注意下さい

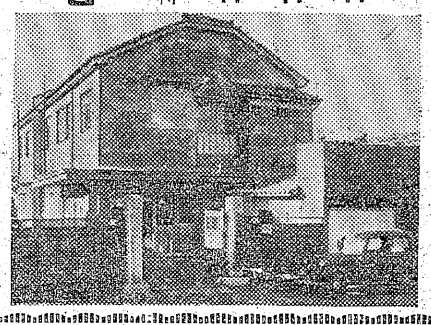
魚菜市況 16

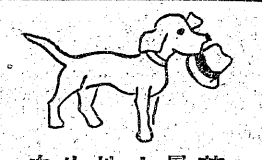
【小名濱中央青果市場】
油菜八束玉ねぎ一〇～一五にら四、五〇～六さつま五〇～五六ほうれん草四〇馬鈴薯五〇～六六人参二一～二五ごぼう四〇～五〇大根一〇～四六水菜四～五切いも一一〇～一二〇竹の子一八七～一九〇卵八～八、五〇

【小名浜魚市場】
めぬけ二六〇えび一、二五〇たか二八〇さめさ六〇小赤五五いなだ四五〇

父長太郎儀今春來より病氣療養中のところ養生相かなわず四月十六日午前八時死去致しました
就ては生前の御交誼を深謝すると共に謹んで御通知申し上げます
追って葬儀は四月十九日午後一時より二時まで自宅に於いて告別式を相營みます
昭和二十七年四月十八日
喪主　草野道人
親戚總代　草野庄平
友人總代　小野義一

製造工場カラ直接需要家へ
ポンプ　捲揚機
1吋ヨリ　10馬力
6吋マデ　15馬力
機械と工具と電氣
ベアリング・プーリー・ベルト
在庫豊富
平市大通り
佐藤鐵工販賣部
電731
工場　平市月見町
佐藤鐵工所
電362

外科　内科　性病科　レントゲン科
【入院隨意】
石井醫院
小名浜町本町　電四七二


経費をかけずに良い品安く

白生地大暴落
3月31日が最底値でした
毎日少しづつ高くなってます　當店には底値品がまだまだ在庫してあります
遠足に運動靴
リツクサツク
学生服
小學生より
高校生服迄
セーラー服
一年生より
高校生まで
特別安値
新入荷
学生帽KO型　130円より
350円まで
手提鞄（男女学生用）
370円より1200円迄
ボストン鞄2000まで
小名浜第二小學校前
皆様の店　平マーケット
電話297番

【1】 日刊（除月曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月19日 運輸省特別承認扱第684號

磐城日日

昭和27年（1952）4月17日（木曜日） 第508号

鮫川堰の總代選擧終る

小名濱町の當選者

泉、渡邊の顔振れも決定

鮫川堰土地改良区の總代選擧は各區とも一斉に十五日行れたが定員三十七名の小名濱町の有權者は八百二十名で、投票數は六百五票、その内無効九票、棄權二百十五であつた、開票の結果は次の通り

當選＝四〇村上重一（原木田）三二箱崎龍二郎（大原）三〇小浜長太郎（本町）三〇飯塚藤右エ門（定西）二五鈴木孝次（富岡）二四草野新兵エ（本町）二三松本豊（松の中）二一吉田利治（定西）一九小野義一（上明神町）一八小野兼吉（松の中）一七鈴木一男（島）一七小松元司（原木田）一六高萩魁次（住吉）一六竹原太津彌（住吉）一六野崎啓之介（住吉）一六駒木根忠三（大原）一五仲野積善（野田）一四高萩政記（住吉）一四永井將朗（富岡）一三小松佐市（野田）一三石井平太郎（大原）一二白土權（野田）一二佐藤義保（住吉）一一高木平太（定西）一一馬目孝之助（土井口）一〇鈴木正直（島）一〇箱崎平三郎（大原）九齋藤義定（松の中）九小野辰吉（下町）九柳内勇（定西）九松原文吾（定西）八小林仁一郎（横町）八飯塚定吉（中明神町）八富岡鶴治（大原）五小野忠三（古港）

次点＝一鷲幸江（須賀町）一吉田公安（定西）一駒木根長壽（大原）

泉村定員十八名の當選者三四…吉田正愛、三一…佐藤權兵ェ、三〇…上遠野浩、二八…三瓶杢三郎（定員十四名）二三…鈴木孝章、二二…吉田芳敏、二二…志賀義秋、一九…吉田透、一九…佐藤進、一八…江尻清四郎、一七…草野喜一、一六…山崎源司、一六…江尻欣次郎、一六…佐藤廣一、一五…佐藤長久、一二…吉田倉雄、一〇…鈴木昇次郎、五…吉田敏治

渡邊村当選者（定員十四名）二二…鈴木喜代次、二〇…高木善枝、二〇…根本竹男、二〇…高木勝世、一九…草野定聖、一九…高木信定、一八…鈴木政雄、一五…永山信司、一五…草野軍次、一五…江尻吉三郎、一四…久保木安雄、一四…若松榮、一三…永山大一郎、一三…江尻房義

三月の出入船舶貨物

小名濱海運局發表

東北海運局小名浜支局では小名浜港に於ける三月中の出入船舶並びに取扱貨物について次のように發表した

▼出入船舶

汽船＝十二隻（陸揚四隻、積込八隻）一五、一三一屯八八

▼機帆船＝一隻、陸揚なし、積込一隻）一二五屯

▼貨物屯數

揚荷＝石炭、コークス（一六〇〇）機械類（八〇〇）セメント（七五）計二、四七五屯

積荷＝ドロマイト（四四七二）せん鉄（三一〇）計四、七八二屯、總計七、二五七屯

右總計は海運業者により取扱われたものである

小名浜町に六戸

縣營住宅の割当決る

縣では二十七年度の公營住宅建設計画として縣費による縣營住宅百戸を建設することになり十五日その配分が決定したが石城郡では小名浜町が六戸平市は八戸となつている

巡査部長の試驗に合格

湯本地區署より巡査部長鈴木秦三、穗積誠喜第一次試驗に次の二名が合格した

獨航船の打合會（平）

〃既報〃北洋サケ、マス操業に母港を出帆することになつた小名浜第一香取丸（五二屯）、江名第二恵運丸（五〇屯）中ノ作第八源海丸（五〇屯）四倉康正丸（五六屯）の各船主及び漁協組代表者は本十七日午後一時より平市縣水産事務所で出漁の打合せを行う

磐崎の火事

損害二萬円

十五日午後七時四十分ごろ磐崎村下湯長谷二五主食販賣精米業清水金吾（六五）さん方の倉庫裏鶏小屋から出火、地元磐崎湯本、内郷各消防團がかけつけ消火に努めたため同小屋一棟を全焼し倉庫二十坪を半焼して同八時二十分鎮火した

原因は湯本地区署で取調中であるが鶏の敎すう器の火の不始末からではないかと見ている、損害は約二万圓

大平華泉氏入選

泉村下川風景『山』

東京都日本橋の三越本店七階に於いて去る十五日より二十日まで開催されている日月社の日本画展に泉村出身の大平華泉画伯は泉村下川の風景に取材した「山」と題する横七尺、從五尺の大作を出品したところ見事入選した

今回の日月社日本画会は伊東深水、兒玉希望、矢野橋村氏らの大家が顧問となつておりなかなかの嚴選振りであつた

矢郷炭礦問題の聽問會

内郷町白水矢郷炭礦經營者矢郷倉藏氏は二十六年七月六日鑛業權所有者川合昇氏より全炭礦立入禁止、採掘禁止の仮處分を東京地方裁判所に提起され、次いで損害賠償を請求されたため、矢郷氏から異議申立の反訴となつて爭いを續けているが、東部石炭協組、東部鑛連縣炭協、炭勞、日鑛の各團体が主催となり來る二十一日平市公会堂に川合矢郷の當事者に関係者として水野一壽氏の出席をもとめて聽聞會を開くことになつた

なお參會者は東京、仙台資源廳、通産局關係、平石炭事務所、東京鉱山保安監督部、縣、縣地方労委、關係町村長、茨城福島兩縣炭礦代表、司法関係、警察関係、縣議、代議士等百余名にのぼるものとみられている

スト投票を決定

水素の斗爭委員會

小名浜日本水素勞働組合の第五回擴大斗爭委員会は十五日斗爭本部提案のスト投票日について各支部の狀況により慎重な審議を行つた結果、斗爭本部案のスト投票日＝二十二日より二十五日、会社通告＝二十六日、スト突入＝二十八日（無期限）を賛成四十五票、反對三票、保留一票を以て決定した

なお組合運動機牲者扶助規定に關する件は本十七日各支部より代表を選出して審議する

常磐線にスリ横行

十三日午前十時十分頃常磐線下り二二五列車に乘車中の若松市下二ノ町一九漆器業鈴木勘右衛門さん（六三）は上衣ポケットから現金三千圓をスられ、また茨城縣平潟町産物商作山彦一さんは同日夕五時二十五分下り列車内で上ポケットから現金千四百圓をすられ、それぞれ鉄道公安室に届出た

四倉でカツギ取締り

四倉署では十四日四倉發午前七時五十分常磐線上り二二二列車の主食取締を行い四倉町新町無職中村清（三二）を検挙したほか無主物八個二俵分を押收した

風呂敷包みを強奪さる

湯本町浅貝六〇無職生田目キエノ（四五）さんは十二日午後八時頃同町表町草蟠美容院からの歸途中同町吹谷地内で後からきた労働者風の男に現金百円、下駄等を包んだ風呂敷を奪われたと湯本地區署に届出た

高壓線に觸れて死亡

勿來町大日本炭礦勿來礦電工鈴木喜平（二一）さんは十四日午前八時十分ごろ本坑の人車捲高壓線を修理中あやまつて高壓線に觸れ重傷を負つたが十五日午前八時三十分死亡した

花見酒に醉い暴行（平）

十三日夜九時頃石城郡鹿島村上蔵持ラヂオ修理業箱崎政雄（二五）さんは友人と花見酒に醉い、平市松ケ岡第二公園附近で同市高野洋服店雇人武田輝三（一八）さんをなぐり暴行現行犯で平市署に逮捕された

作業服一梱盗まる（平）

平市長橋町縣炭礦物資購買連合會（理事長浜崎善三郎氏）では東京都の信和商事KKより十二日に到着した炭礦向け作業服一梱二万円相当がなくなつているのを十五日朝發見直ちに平市署に届出た

平驛待合室でスラる

赤井村赤井諏訪原日雇遠藤廣夫（四一）さんは去る十二日午後三時四十分より四時ごろまでの間に平駅待合室に於いてズボンのポケットより現金六十円と失業対策手帳をスられた

検知石・割吳
コンクリート砂及植木砂
多少に拘らず販賣致します
石積は特に御相談に應じます
大友工務店
小名浜字小名浜町岡館

醸造酒 清水屋 鮮鯖
一級酒
小名浜町 電話六番 清水屋酒造店

撮影會
4月20日（日）午前9時
山形屋旅館前集合
モデルミス ゆもと
多數參加 會費不要

湯本町 観光寫眞募集
主催 湯本町観光協會・湯本町商工會
後援 常磐炭礦・湯本温泉旅館組合

展示會
5月3日（土）4日（日）
會場 湯本公民館内・作品四季隨意
出品〆切 4月末日限り
賞金 入選1枚 1000円 副賞多數
詳細は公民館あて御問合せ下さい

謝
出火御見舞御禮
十五日出火の際は早速お駈け付け下され消火に御協力を賜わりお蔭様にて大事に至らず鎮火し誠に有難う御座いました
略儀ながら紙上にて御禮申上げます
清水精米所
清水金吾
磐崎村下湯長谷

近火御見舞御禮
織内農具店
織内精一
電話（湯本）一四八番

近火御見舞御禮
磐崎村散宿所
岡田幸雄

近火御見舞御禮
石井商店
石井愛子

近火御見舞御禮
丹清一

近火御見舞御禮
金成精米所

近火御見舞御禮
吉田農鍛冶店
吉田義一

見習工募集…小名濱町ナガセ印刷所

春のスポーツ
シーズン來る
御用命は專門の大塚
○各種運動具新型優秀品豊富に揃って居ります
○野球ユニホーム グランドコート
各種運動服裝
月星印運動靴各種
○定評ある大塚の 紳士靴 婦人靴
大塚
平市驛前大通り電77